

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課
 担当名: 企画・セキュリティ担当
 内線: 2272

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N70	電子県庁推進事業費 (内部管理経費)			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子県庁推進費	
事業期間	平成13年度～	根拠法令	デジタル社会形成基本法			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1
1 事業の概要	県庁全体のICT施策の総合調整を実施する。 ア ITアドバイザーからの助言 0千円 イ デジタル人材育成支援 △63千円 ウ コンピュータ研修負担金 0千円 エ ICT-BCPの推進 △666千円 オ インターネット行財政情報サービス △542千円 カ システム運営等業務委託 0千円 キ 即応体制の強化事業 0千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア ITアドバイザーからの助言 176千円 イ デジタル人材育成支援 527千円 ウ コンピュータ研修の負担金 879千円 エ ICT-BCPの推進 1,925千円 オ インターネット行財政情報サービスの利用 38,709千円 カ システム運営等業務委託 40,845千円 キ 即応体制の強化事業 5,940千円 (2) 事業計画 ア 新たな技術やシステムを導入する際の課題解決について、外部専門家から指導・助言を受ける。 イ 県庁業務のデジタル化を推進するため、各課所の業務支援や先進的自治体や国などからの情報収集を行う。 ウ ICT部門職員がコンピュータ関連の専門知識や技能の習得をするために、民間企業の主催する専門研修に参加する。 エ ICT-BCPをより効果的に実践するため、ICT-BCPの推進や訓練などを実施する。 オ iJAMP、47ジャーナルの配信サービス カ 職員からの問合せ対応や庁内クラウドの運用管理等 キ セキュリティ事故が発生した際に、原因究明や影響範囲の把握等のため、パソコン及びサーバのフォレンジックを行う。 (3) 事業効果 ア ICTによる県民生活の利便性を向上させる。 イ 県の業務の効率化や業務継続性を向上させる。 (4) 補正予算の概要 ICT-BCPシミュレーション訓練支援業務委託や、47行政ジャーナル利用契約の差金による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置あり (単位費用算定)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.0人=47,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,271							△1,271	89,001
現計額	90,272							90,272	

事業内訳書

事業名	電子県庁推進事業費（内部管理経費）		
単位事業名	デジタル人材育成支援	予算額	△ 63千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△63	—	
合計	△63	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△63	—	留保分の減
合計	△63	—	

単位事業名	ICT-BCPの推進	予算額	△ 666千円
-------	------------	-----	---------

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△666	—	
合計	△666	—	

単位事業名	ICT-BCPの推進	予算額	△ 666千円
-------	------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△666	—	ICT-BCPシミュレーション訓練支援業務委託の契約差金による減
合計	△666	—	

単位事業名	インターネット行財政情報サービスの利用	予算額	△ 542千円
-------	---------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△542	—	
合計	△542	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△542	—	47行政ジャーナル利用契約差金による減
合計	△542	—	